

平塚市役所庁舎に関する市民アンケート
調査結果速報

平成 18 年 9 月

平塚市

目 次

．調査の概要	1
1．調査の目的	1
2．調査方法	1
3．調査表の配布及び回収結果	1
4．本調査を行うにあたって	2
．調査結果	3
1．回答者属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 居住年数	4
(5) 居住地区	5
2．現在の市役所庁舎の利用状況	6
(1) 訪問の有無	6
(2) 来訪頻度	6
(3) 交通手段	7
(4) 訪問理由	7
3．市役所庁舎を建替える場合の考え方	8
4．これからの市役所庁舎のあり方	9
5．自由回答	10
(1) 市役所庁舎について	10
(2) 市内の公共施設の建替えについて	11
参考資料	12
1．調査票	12

．調査の概要

1．調査の目的

市庁舎の建て替えについて市民の意見を収集し、新庁舎建設に向けての資料として活用することを目的とする。

2．調査方法

- (1) 調査地域・・・平塚市内全域
- (2) 調査対象・・・平塚市内に在住する満 18 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 抽出方法・・・無作為抽出
- (4) 調査方法・・・郵送配布・郵送回収
- (5) 調査期間・・・平成 18 年 7 月 31 日～8 月 14 日
- (6) 調査票　・・・本報告書の巻末を参照

3．調査表の配布及び回収結果

- (1) 標 本 数・・・発　　送　　3,000 人
 - ・・・戻　り　分　　13 人()
 - ・・・実質標本数　2,987 人相手方不明・転居等のため届かず
- (2) 回　収　数・・・1,187 人
- (3) 回　収　率・・・39.6%
- (4) 有効回収数・・・1,182 人
- (5) 有効回収率・・・39.6%

4. 本調査を行うにあたって

- (1) 調査結果の数値は、原則としてパーセンテージ(%)で表記した。%値の母数は、原則としてその質問に対する回答者数(回答すべき人の数)であり、図表では「n= 」と表示している。
- (2) 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも100.0%ではない場合(99.9%または100.1%など)がある。また「0.0」は±0.05未満の数値を示す。
- (3) 図表中の選択肢の内容について、一部省略している場合がある。また、図の一部において、構成比の少ない項目の構成比の値を省略している場合がある。
- (4) 本調査のように全体(母集団)から一部を抽出して行う調査の場合、ここで示された数値(%)をそのまま18歳以上の全市民の回答として単純に置き換えると、多少の誤差を生じる(標本誤差)。そこで、次式により標本誤差を計算して、18歳以上の全市民の回答を数学的に推測する。
- なお、標本誤差(b)は、比率算出の基数(n)及び回答比率(P)によって異なってくる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団数(213,978) n = 比率算出の基数(1,182) P = 回答比率
母集団とは、18歳以上の市内在住者の総数を表す。(平成17年1月1日現在)

標本誤差の計算結果が下表であり、例えば「ある設問の回答者数が1,182人であり、その設問中の選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率には±2.9%程度の誤差がありうる」ことを示す。つまり、実際の比率は(50.0 - 2.9)%から(50.0 + 2.9)%の間にあると考えればほとんど問題ないということである。

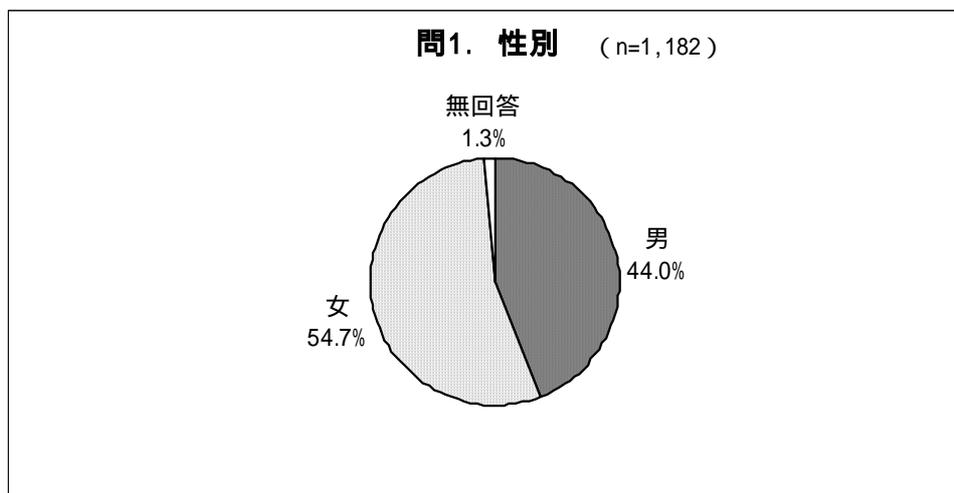
回答比率	誤差
10%または90%	±1.7
20%または80%	±2.3
30%または70%	±2.7
40%または60%	±2.8
50%	±2.9

・調査結果

1. 回答者属性

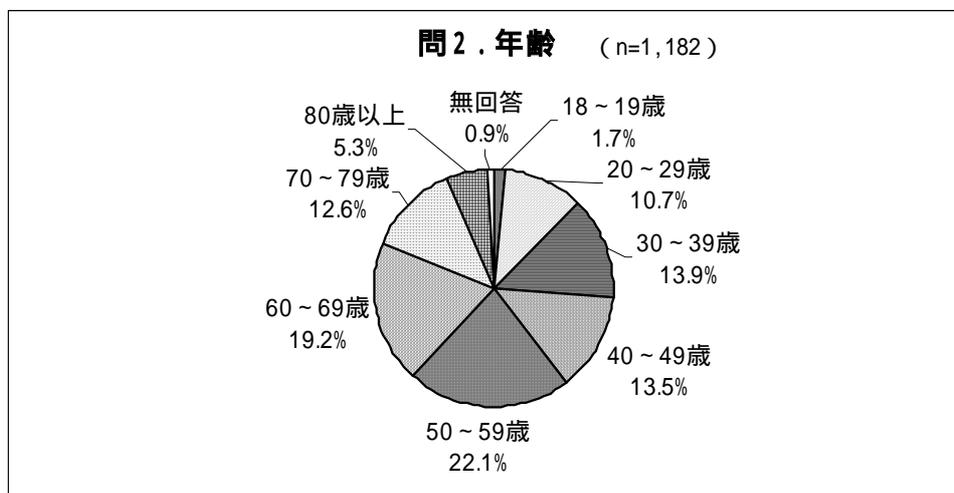
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が44.0%、「女性」が54.7%である。



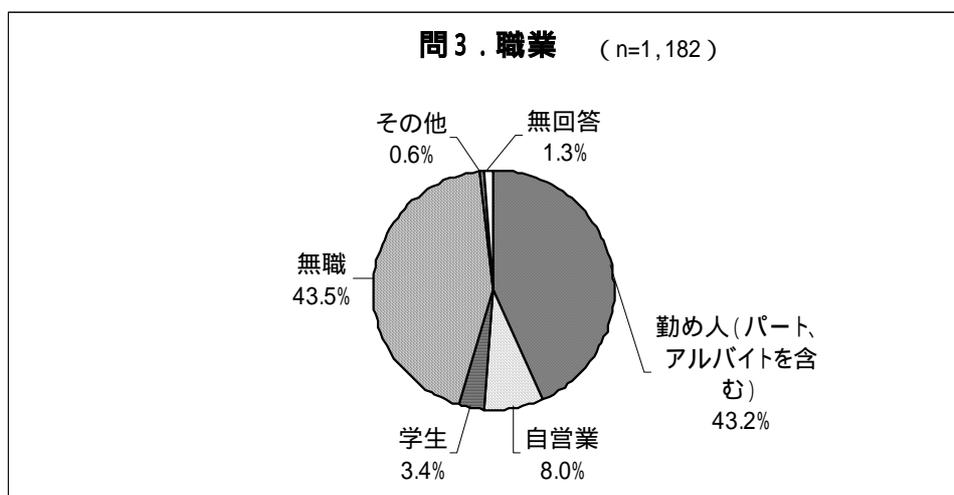
(2) 年齢

回答者の年齢層は、「50歳代」が22.1%で最も多く、次いで「60歳代」(19.2%)が多い。



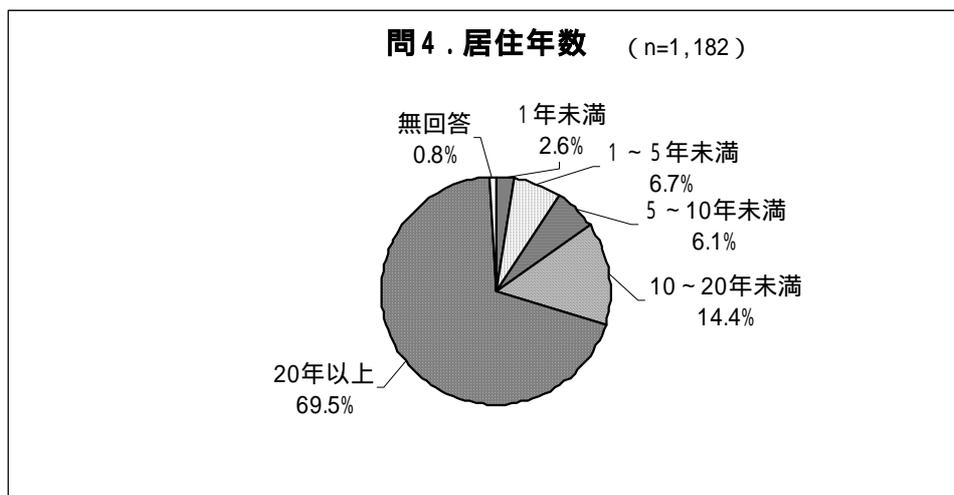
(3) 職業

回答者の職業は、「無職」(43.5%)と「勤め人」(43.2%)が多く、この2つの職業で全体の8割を占める。



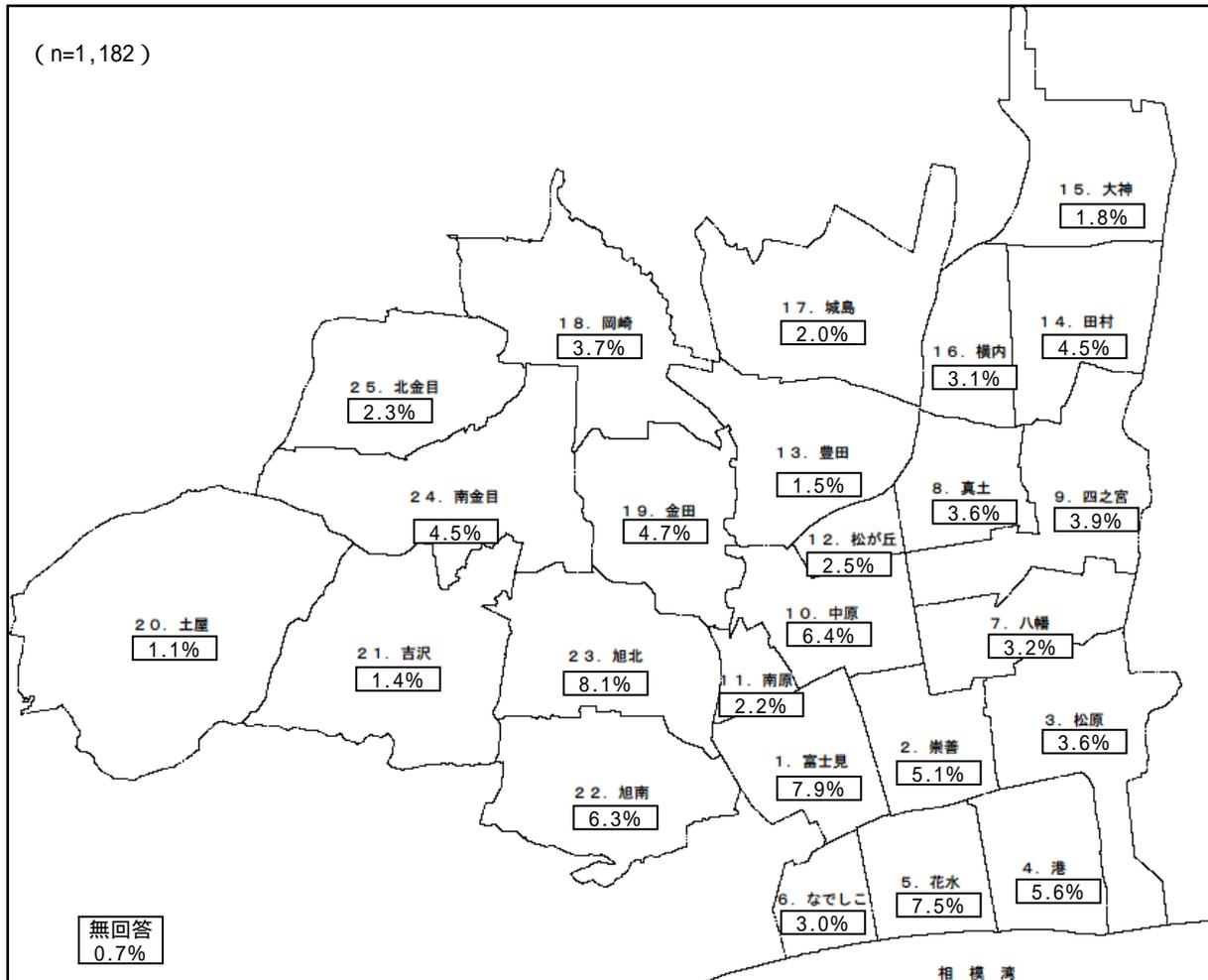
(4) 居住年数

回答者の平塚市内の居住年数は、「20年以上」(69.5%)が最も多く、全体の2/3以上を占めている。



(5) 居住地区

回答者の居住地区の構成比をみると、「旭北」地区(8.1%)が最も多く、次いで「富士見」地区(7.9%)、「花水」地区(7.5%)といった地区が多い。



地区	該当する住居表示地区または字名
1 富士見	上平塚、桜ヶ丘、諏訪町、達上ヶ丘、豊原町、中里、平塚1丁目～5丁目、富士見町
2 崇善	明石町、追分、浅間町、宝町、立野町、錦町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町
3 松原	天沼、榎木町、若松町、須賀、堤町、中堂、長瀬、馬入、馬入本町、八千代町
4 港	久領堤、幸町、千石河岸、高浜台、代官町、札幌町、夕陽ヶ丘
5 花水	黒部丘(1番～9番)、董平、袖ヶ浜、虹ヶ浜(1番～12番)、松風町、桃浜町、八重咲町、龍城ヶ丘
6 なでしこ	黒部丘(10番～30番)、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜(13番～24番)、花水台
7 八幡	西八幡1丁目～4丁目、東八幡1丁目～5丁目、八幡
8 真土	西真土1丁目～4丁目、東真土1丁目～4丁目、真土
9 四之宮	四之宮1丁目～7丁目、四之宮
10 中原	大原、御殿1丁目～4丁目、新町、中原上宿、中原下宿、中原1丁目～3丁目(中原3丁目1番～19番除く)
11 南原	南原1丁目～4丁目、南原
12 松が丘	中原3丁目(1番～19番)、東中原1丁目～2丁目
13 豊田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
14 田村	田村1丁目～9丁目、田村
15 大神	大神、吉原
16 横内	横内
17 城島	大島、城所、小鍋島、下島
18 岡崎	岡崎、ふじみ野1丁目～2丁目
19 金田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
20 土屋	土屋
21 吉沢	上吉沢、下吉沢、めくみが丘1丁目～2丁目
22 旭南	出縄、高根、高村、万田、山下
23 旭北	公所、河内、徳延、根坂間、日向岡1丁目～2丁目、纏
24 南金目	片岡、千須谷、広川、南金目
25 北金目	北金目、真田

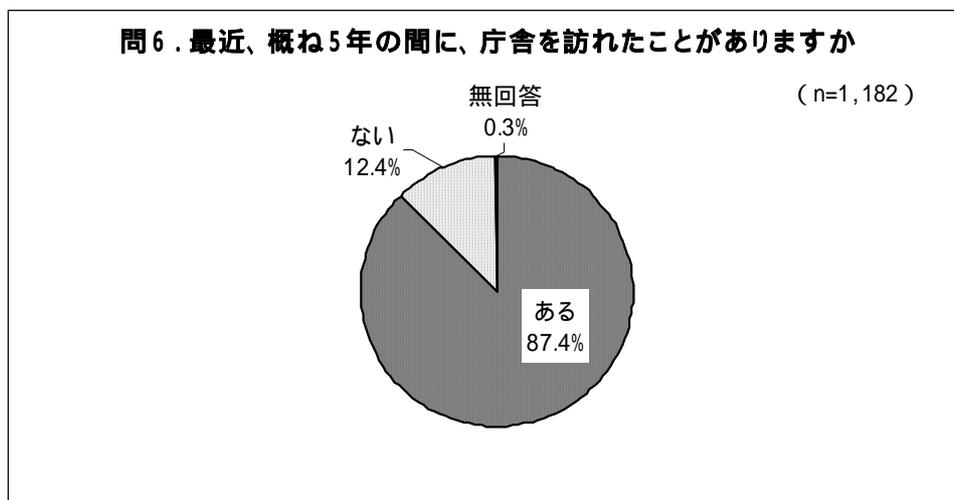
2. 現在の市役所庁舎の利用状況

(1) 訪問の有無

市役所庁舎への訪問の有無をみると、訪れたことが「ある」人が9割弱を占めている。

問6. 最近、概ね5年の間に、庁舎を訪れたことがありますか(1つに○)

(市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください)



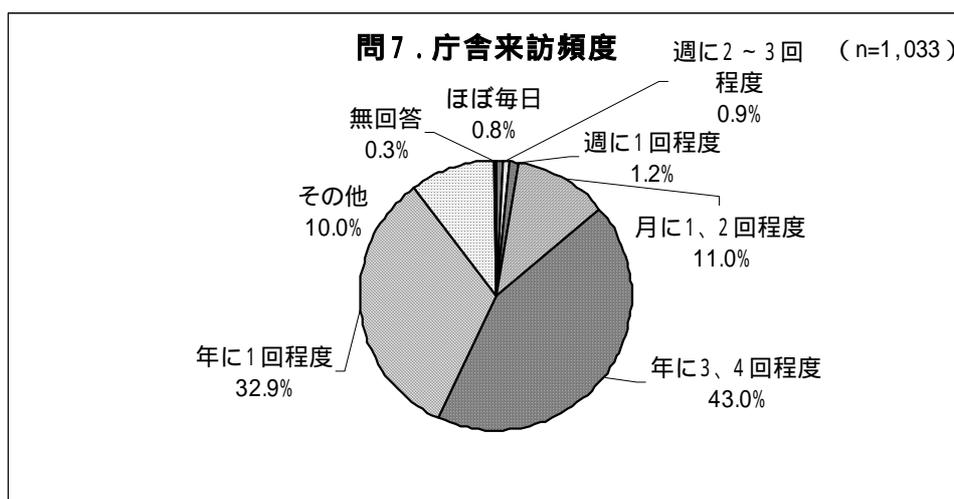
(2) 来訪頻度

庁舎を訪れたことのある人について、来訪頻度をみると、「年に3、4回」(43.0%)が最も多く、次いで「年に1回程度」(32.9%)が多く、来訪頻度が年1～数回程度が3/4を占める。

問7. 最近、概ね5年の間に、どのぐらいの頻度で庁舎を訪れましたか(1つに○)

(市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください)

【問6.で、「1. ある」に つけた方のみお答えください。】

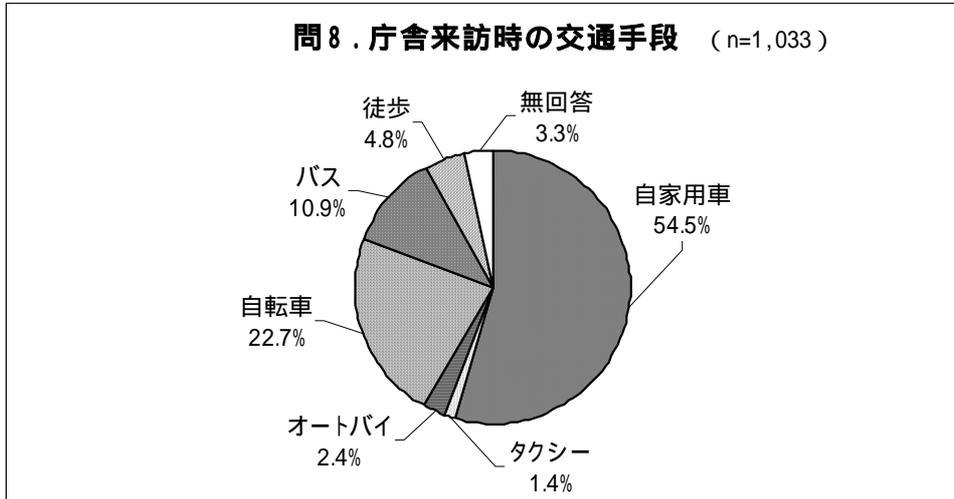


(3) 交通手段

庁舎を訪れたことのある人について、来訪時の交通手段をみると、「自家用車」(54.5%)が最も多く、過半を占める。次いで「自転車」(22.7%)が多い。

問8. 主にどのような交通手段で庁舎を訪れましたか(1つに○)。

【問6.で、「1.ある」に つけた方のみお答えください。】

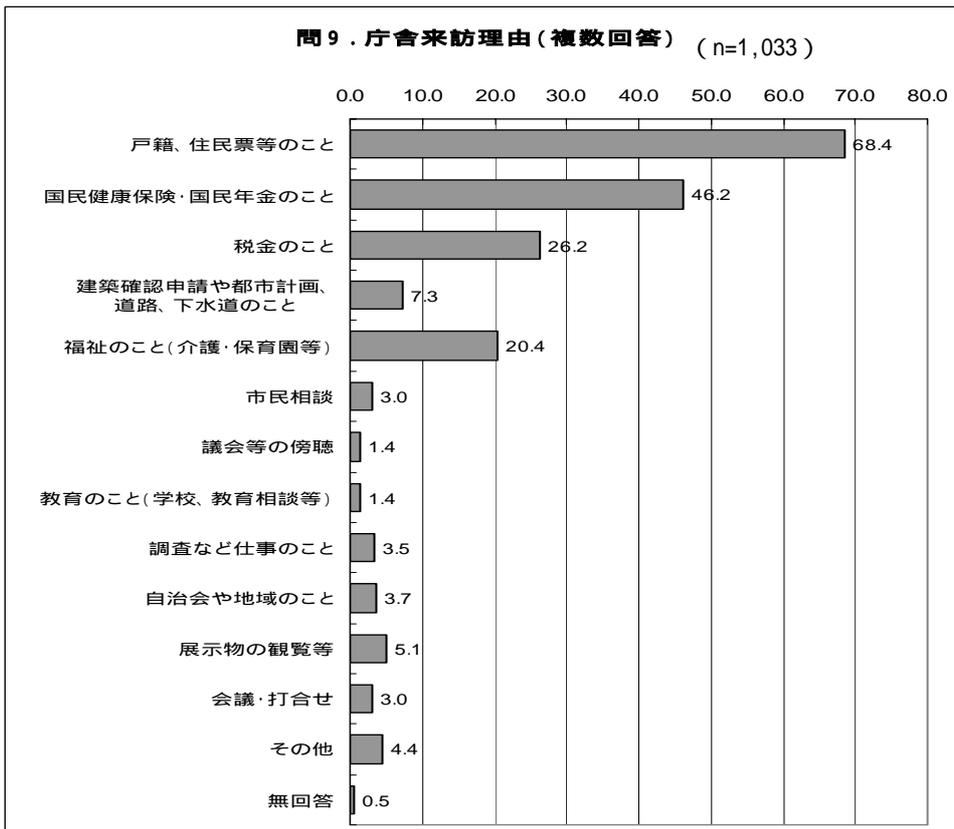


(4) 訪問理由

庁舎を訪れたことのある人について、来訪理由をみると、「戸籍、住民票等」(68.4%)が最も多く、次いで「国民健康保険・国民年金」(46.2%)、「税金」(26.2%)、「福祉」(20.4%)が多い。

問9. どのような用件で庁舎を訪れましたか(該当するものすべてに○)。

【問6.で、「1.ある」に つけた方のみお答えください。】



3. 市役所庁舎を建替える場合の考え方

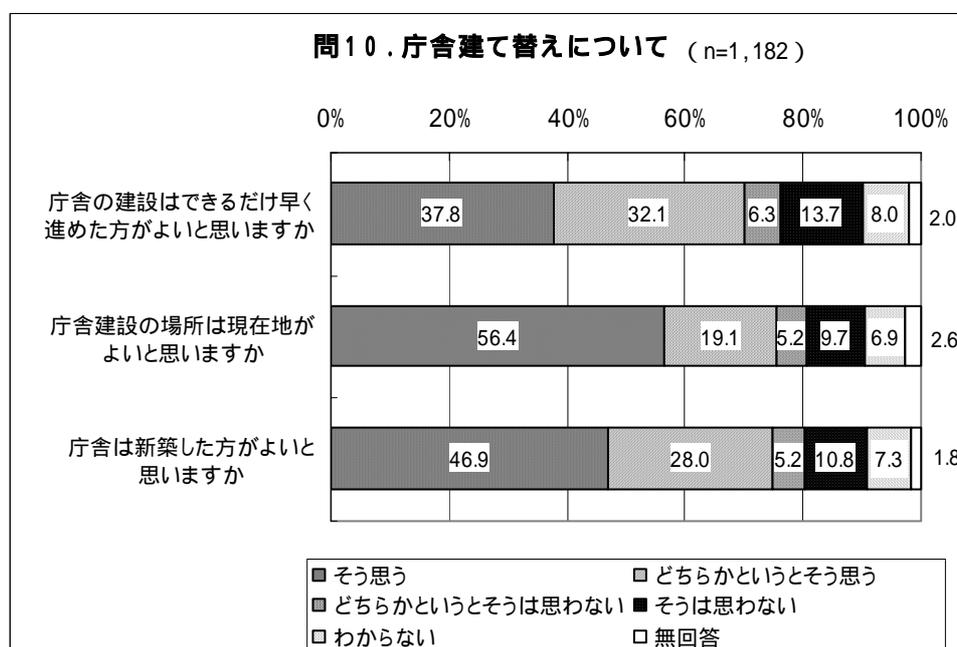
庁舎を建て替える場合の考え方については、調査票の中で検討経過や検討結果、新庁舎の規模等について情報提供を行った上で、回答を求めている。

その結果、「できるだけ早く進めた方がよい」については、69.9%が肯定的(「そう思う」+「どちらかというと思う」)である。

「建設場所は現在地がよい」については、75.5%が肯定的である。

「庁舎を新築した方がよい」については、74.9%が肯定的である。

問10. 平塚市では、検討経過などを踏まえ、市役所庁舎の建設を『早期に現在地に新築する』方向で進めたいと考えています。検討経過などを参考にし、以下の設問について、あなたの考えに近いものをつけてください(各項目につき1つ)。



5 . 自由回答

(1) 市役所庁舎について

市役所庁舎に関する自由回答では、553 件の回答があった。なお、分類にあたっては、1 つの回答の中に複数の項目に関する記載があった場合には、各項目に重複して 1 件ずつ計上している。従って、件数の合計は回答のあった 553 件を上回る。

市役所庁舎の建替えに関する自由回答について、「新庁舎建設の検討結果報告書(新庁舎建設庁内検討委員会)」を踏まえ、「建設場所」「新庁舎の基本的な考え方」「建物の機能」「事業手法・建設費」という視点から分類する。

「新庁舎の基本的な考え方」に関連する意見は 311 件あり、そのうち「人にやさしい庁舎」に関する意見が 110 件で最も多く、次いで「市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎」(83 件)、「市民サービス、事務能率の向上を目指した機能的な庁舎」(72 件)に関する意見が多い。

「建物の機能」に関連する意見は 199 件あり、そのうち「窓口機能」に関する意見が 76 件で最も多い。

「事業手法・建設費」に関する意見も 305 件と多くなっている。また、「建設場所」に関する意見は 79 件である。

問 12 . 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。

(庁舎のあり方・機能等による分類)

分類	件数
建設場所に関わるもの	79
新庁舎の基本的な考え方(人にやさしい庁舎)	110
新庁舎の基本的な考え方(市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎)	83
新庁舎の基本的な考え方(環境との共生、周辺との調和ある庁舎)	31
新庁舎の基本的な考え方(市民サービス、事務能率の向上を目指した機能的な庁舎)	72
新庁舎の基本的な考え方(将来の行政需要の変化にも柔軟に対応できる庁舎)	15
建物の機能に関わるもの(窓口機能:窓口、待合空間、総合案内など)	76
建物の機能に関わるもの(事務機能:執務空間、部署特有空間、打合空間、会議室、書庫など)	2
建物の機能に関わるもの(議会機能:本会議場、議会関連空間)	1
建物の機能に関わるもの(災害対策本部など、災害発生時の対応可能となる空間)	44
建物の機能に関わるもの(市民機能:ロビー、食堂・売店、情報公開コーナーなど)	34
建物の機能に関わるもの(駐車場)	42
建物の機能に関わるもの(その他:職員休養室、更衣室など)	1
事業手法・建設費に関わるもの	305

(2) 市内の公共施設の建替えについて

市内の公共施設の建替えに関する自由回答では、488 件の回答があった。なお、分類にあたっては、1 つの回答の中に複数の項目に関する記載があった場合には、各項目に重複して 1 件ずつ計上している。従って、件数の合計は回答のあった 488 件を上回る。

具体的な施設種類では、「医療(病院、保健センター)」が 179 件で最も多く、「教育」「文化」「福祉」は 80 件前後である。

また、「その他の施設(上記施設種類で分類不可なもの、及び基準が耐震性や機能面など他にあるもの)」(167 件)と多いほか、「建物の機能や運営方法」に関する意見(147 件)も多くなっている。

また、「全面的に建替え反対もしくはそれに近い意見」は 29 件であった。

分類	件数
教育(学校など)	79
文化(市民センター、図書館、博物館など)	81
福祉	76
医療(病院、保健センター)	179
その他の施設(上記施設種類で分類不可なもの、及び基準が耐震性や機能面など他にあるもの)	167
建物の機能や運営方法に関する意見・要望	147
財政面に関する意見・要望	79
公共施設全般の建替え反対もしくはそれに近い意見	29
市政全般に関する意見・要望(職員に関するものを含む)	66
その他(上記の項目で分類不可なもの)	51

参考資料

1. 調査票

平塚市役所庁舎についてあなたのご意見を！

(ご協力をお願い)

平塚市では、市庁舎について検討を行っています。

現在の市役所本庁舎は、昭和39年(1964年)に建設され、すでに40年以上が経過し老朽化が進んでいます。

市庁舎は、平常時は市民生活を支え、万一の災害発生時には応急対策や災害復興の拠点となる重要な施設です。

そこで、平塚市では現在の市庁舎の老朽化や分散化などの様々な問題を解決し、市民サービスの向上を図るとともに、市庁舎の耐震性の不安を解消し災害時の拠点となるよう建替えを考えていますが、あらためてあなたのご意見をお聞かせください。

今回いただきましたご意見は、新庁舎建設に向けての資料として活用させていただきます。

平成18年7月

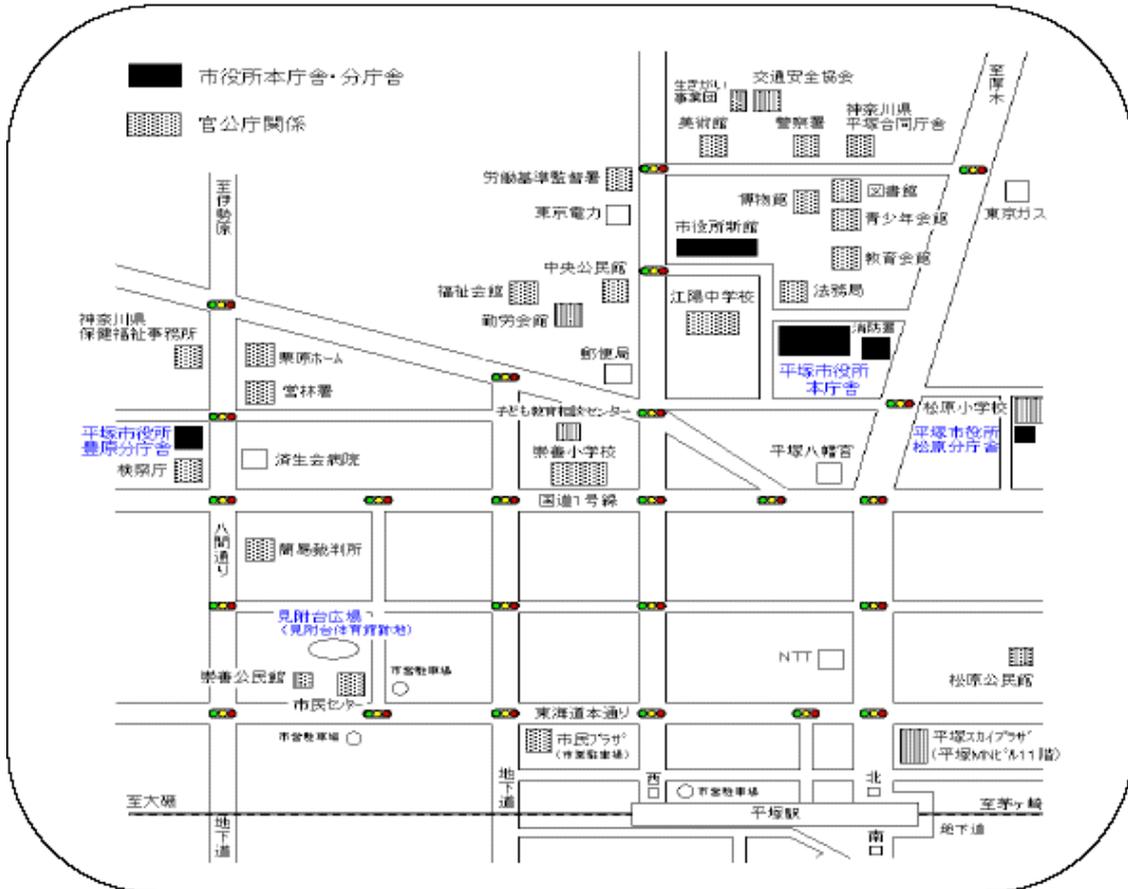
平塚市長 大 藏 律 子

本アンケート調査について

1. 配付資料
お送りした封筒には以下の資料が入っています。ご確認ください。
 - ① ご協力をお願い
 - ② アンケート票
 - ③ 返信用封筒
2. アンケートの対象者
市内にお住まいの満18歳以上の約3,000人を住民基本台帳から無作為に選びました。
3. アンケートの回収方法
記入したアンケート票は、同封の返信用封筒(切手はいりません。)に入れて、**8月14日まで**にご投函ください。
4. アンケート調査の結果
アンケート調査の結果は、11月ごろに公表する予定です。
本アンケート調査の目的外利用は、一切いたしません。
5. 問い合わせ連絡先
平塚市役所 総務部 行政総務課 庁舎建設準備担当
電話 23-1111、35-1111 内線2107

平塚市役所庁舎に関する市民アンケート (アンケート票)

本アンケートは、平塚市役所の庁舎に関して市民の皆様のご意見を伺うものです。
本庁舎等の位置は下記の略図でご確認ください。



＜アンケートに回答される際のご注意＞

- ・回答は、選択する番号に○をつけるかたちで行います。いくつ選択するかについては、問の最後にカッコ書きで表示がありますので、この表示に従って回答してください。

＜回答例＞問1. 以下のうちあなたの考えに近いものに○をつけてください。
(該当するもの2つまで)

- | | | | |
|--------------|-------|---|-------------------|
| ① | ○○である | | |
| ② | △△である | | |
| ③ | □□である | → | 間違えたら二本線で消してください。 |
| ④ | ☆☆である | | |

- ・回答は、8月1日現在において記入してください。

あなた自身のことについて伺います。

問1. 性別

1. 男	2. 女
------	------

問2. 年齢

1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70～79歳	8. 80歳以上	

問3. 職業

1. 勤め人（パート、アルバイトを含む）	2. 自営業	3. 学生
4. 無職	5. その他（	）

※その他の場合は、その具体的な内容を記入してください。

問4. 平塚市内に住んで何年くらいたちますか。

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20年以上	

問5. お住まいの地区（下表左欄の該当する地区の番号に○をつけてください）

地 区	該当する住居表示地区または字名
1 富士見	上平塚、桜ヶ丘、諏訪町、達上ヶ丘、豊原町、中里、平塚1丁目～5丁目、富士見町
2 崇 善	明石町、追分、浅間町、宝町、立野町、錦町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町
3 松 原	天沼、榎木町、老松町、須賀、堤町、中堂、長瀬、馬入、馬入本町、八千代町
4 港	久領堤、幸町、千石河岸、高浜台、代官町、札幌町、夕陽ヶ丘
5 花 水	黒部丘(1番～9番)、壘平、袖ヶ浜、虹ヶ浜(1番～12番)、松風町、桃浜町、八重咲町、龍城ヶ丘
6 なでしこ	黒部丘(10番～30番)、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜(13番～24番)、花水台
7 八 幡	西八幡1丁目～4丁目、東八幡1丁目～5丁目、八幡
8 真 土	西真土1丁目～4丁目、東真土1丁目～4丁目、真土
9 四之宮	四之宮1丁目～7丁目、四之宮
10 中 原	大原、御殿1丁目～4丁目、新町、中原上宿、中原下宿、中原1丁目～3丁目(中原3丁目1番～19番除く)
11 南 原	南原1丁目～4丁目、南原
12 松が丘	中原3丁目(1番～19番)、東中原1丁目～2丁目
13 豊 田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
14 田 村	田村1丁目～9丁目、田村
15 大 神	大神、吉際
16 横 内	横内
17 城 島	大島、城所、小鍋島、下島
18 岡 崎	岡崎、ふじみ野1丁目～2丁目
19 金 田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
20 土 屋	土屋
21 吉 沢	上吉沢、下吉沢、めぐみが丘1丁目～2丁目
22 旭 南	出縄、高根、高村、万田、山下
23 旭 北	公所、河内、徳延、根坂間、日向岡1丁目～2丁目、纏
24 南金目	片岡、千須谷、広川、南金目
25 北金目	北金目、真田

(注意) 自治会や学校の区域と町名の一致しない場合でも上記の範囲でご回答ください。

現在の市役所庁舎の利用状況について伺います。

問6. 最近、概ね5年の間に、庁舎を訪れたことがありますか(1つに○)。
(市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください)

1. ある → 問7.へ進む 2. ない → 問10.から続けてお答えください。

問7. 最近、概ね5年の間に、どのぐらいの頻度で庁舎を訪れましたか(1つに○)。
(市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください)

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】

1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回程度 3. 週に1回程度
4. 月に1、2回程度 5. 年に3、4回程度 6. 年に1回程度
7. その他

問8. 主にどのような交通手段で庁舎を訪れましたか(1つに○)。

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】

1. 自家用車 2. タクシー 3. オートバイ 4. 自転車
5. バス 6. 徒歩

問9. どのような用件で庁舎を訪れましたか(該当するものすべてに○)。

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】

1. 戸籍、住民票等のこと 2. 国民健康保険・国民年金のこと
3. 税金のこと 4. 建築確認申請や都市計画、道路、下水道のこと
5. 福祉のこと(介護・保育園等) 6. 市民相談
7. 議会等の傍聴 8. 教育のこと(学校、教育相談等)
9. 調査など仕事のこと 10. 自治会や地域のこと
11. 展示物の観覧等 12. 会議・打合せ
13. その他
(具体的に _____)

市役所庁舎を建替える場合の考え方について伺います。

問10. 平塚市では、下記の検討経過などを踏まえ、市役所庁舎の建設を『早期に現在地に新築する』方向で進めたいと考えています。下記の検討経過などを参考にし、5ページの設問について、あなたの考えに近いものに○をつけてください(各項目につき1つ)。

検討経過

- ・平塚市では平成元年から庁舎建設の検討を始め、平成6年度の着工を目指していましたが、経済状況等の変化により建設計画を一時凍結しました。その後実施した庁舎の耐震診断では、大規模な地震発生時には倒壊の危険があるため、相当規模の対策が必要となることが判明しています。また、庁舎の分散化等により、市民の皆様にご不便をお掛けしていることなどから、新庁舎建設について検討を行ってきています。

検討結果

- ・現在の庁舎を耐震補強する方法なども検討しましたが、本庁舎4階建て部分だけの耐震補強に概ね15億円の経費、さらに、分庁舎などの耐震対策や老朽設備の改修などにも別途多額の経費が必要となります。また、耐震補強を実施しても耐用(残存)年数の大幅な延長は見込めず、庁舎分散化の解消も図れないなどの問題が残ります。
- ・現庁舎に耐震補強を実施する場合と庁舎を建替える場合を比較検討した結果、費用対効果などを考慮し、現庁舎の耐震補強はしないで、なるべく早く新庁舎を建設することが望ましいと考えています。
なお、庁舎の完成は、基本構想策定、基本設計、実施設計、建設工事などを順次実施すると、最短で概ね5年かかると予測されます。
- ・場所は、現庁舎敷地と見附台地区の2つに絞り、まちづくりの施策、利便性、防災拠点としての安全性、関連計画との整合性、実現性、経済性などについて比較検討し、防災上の観点や官公庁施設の集積等による利便性などから、現在地が望ましいと考えています。

新庁舎の規模等

- ・ 庁舎の規模は、将来の人口や職員数なども考慮し、分庁舎も含めた現在の庁舎面積を合算した延床面積約20,000㎡を基本に考えています。
- ・ 事業費は、市の財政に過度な負担とならないように、現在まで積み立てている約64億円の庁舎建設基金と市債（借入金）により、概ね100億円程度を考えています。

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない
1. 庁舎の建設はできるだけ早く進めた方がよいと思いますか	1	2	3	4	5
2. 庁舎建設の場所は現在地がよいと思いますか	1	2	3	4	5
3. 庁舎は新築した方がよいと思いますか	1	2	3	4	5

※ 設問の内容について、別にご意見等がある場合は、問1 2のところでも自由にお書きください。

これからの市役所庁舎のあり方について伺います。

問11. これからの庁舎のあり方について、あなたの考えに近いものに○をつけてください（各項目につき1つ）。

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない
1. 防災や災害時の復興拠点としての機能を備えているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
2. ユニバーサルデザイン（注1）の考え方に対応しているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
3. 省エネルギーや省資源等の環境への配慮をしているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
4. 市民サービスの向上に結びつく情報技術（IT）化に対応しているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
5. 庁舎は分散しているより1箇所に集約されているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
6. 市民が利用できるロビーや憩いのスペース等が設けられているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
7. 市民利用の多い窓口部門の待合スペースは、ゆとりが充分あるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
8. 街のシンボルとなるような建物のほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
9. 駐車場・駐輪場が充分にあるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
10. 緑地がなるべく多く取ってあるほうがよいと思いますか（注2）	1	2	3	4	5
11. 周辺の景観に見合う建物のほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
12. 周辺に他の官公庁施設があるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
13. 案内表示などが多様な外国籍市民にも対応しているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
14. 将来の変化に対応できるゆとりのスペースがあるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5

（注1）「ユニバーサルデザイン」

すべての人にとって共通に、安全で使いやすい製品や快適で不便のない生活環境をデザインしていくという考え方。

（注2）緑地については、「緑化の推進及び緑の保全に関する条例」により、敷地面積の20%以上は確保する予定です。

市役所庁舎について伺います。

問12. 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。

市内の公共施設の建替えについて伺います。

問13. 市内には、市役所庁舎の他にも教育・文化・福祉・医療施設など、老朽化している市の施設が多くあります。これらの施設は、耐震性や機能性などの面からいずれ建替えが必要となるため、財源の確保を見据えながら、総合的かつ計画的に準備を進めなければならないと考えています。
こうした施設の建替えの際の考え方や優先度などについて、お考えがあればお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート票は、平成18年8月14日（月）までにご投函ください。

《問い合わせ連絡先》

平塚市役所 総務部 行政総務課 庁舎建設準備担当
電話 23-1111、35-1111 内線2107



平塚市役所本庁舎